

成績処理のための Excel マクロ「Gates」について

1 はじめに

「Gates (ゲイツ)」は Microsoft Excel 上のマクロプログラムです。高等学校向けの成績処理のためのマクロで、定期考査の得点入力から評定作成までを受け持ちます。

「Gates」は元々以下に名前のみ紹介する②～⑤ Excel マクロとともにシステムを組み、高等学校の成績処理全体をカバーしていました。

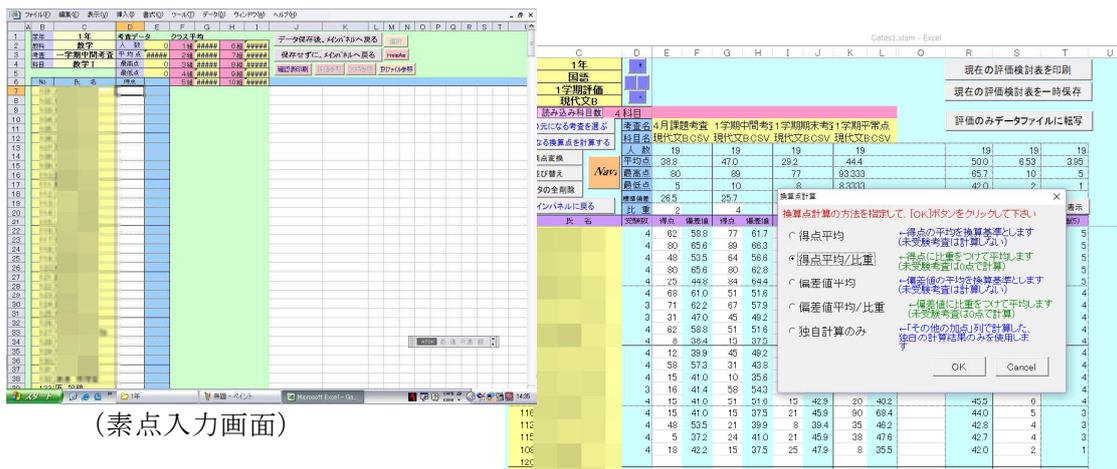
【Gates ファミリー】

① Gates.xls
 《機能》 考査素点の入力(データはすべて CSV ファイルとして保存される)
 入力データをもとにした評価作成
 科目の評価・出欠入力 (CSV ファイルとしてデータ化)
 成績伝票の印刷

② Jobs.xls
 《機能》 クラスの出欠席の入力

③ Bill.xls
 《機能》 Gates や Jobs で入力したデータを簡便な形で集約する

④ Gm.xls (ジェネラルマネージャー 通称じえねまん)
 《機能》 各学期の評価・出欠を集約し成績一覧表をつくる
 成績会議用資料・入力ミス等のチェック・通知簿を作成



現在、高等学校にも標準の業務システムが必要であるとの考え方が全国的に主流となっているので、②～④のマクロについては不要となりつつあります。筆者自身もほぼ使用する場面がなくなってしまったため、更新はしていませんが、愛用していただいている方もいらっしゃるって、①の「Gates」についてはまだ命脈を保っている状況です。

成績評価の作成については、なお、教師個人の主体性が問われるため、評価作成時の個人あるいは小グループのツールとして「Gates」はまだまだ現役なのでしょう

十分なサポートはできないのですが、ここに簡単な紹介・使用方法の説明とともに Gates 本体を置いておきます。(2018/06/11)